

福祉ボランティアセンターだより

発行 社会福祉法人中津川市社会福祉協議会 福祉ボランティアセンター

第25号

ボランティア交流会 開催!!

「つながれ・ひろがれ・ボランティアの輪」

2月13日、市健康福祉会館で『平成21年度ボランティア交流会』を開催し、登録ボランティア団体など80人が参加しました。この交流会は登録ボランティア連絡協議会との共催により、市内で活躍するボランティア団体の情報交換や意見交換などを行い、ボランティア活動の推進を図ることを目的に毎年開催しています。

今回のテーマは、「社協支部による小地域での福祉活動」について。山口支部の活動事例発表を通じて、住民主体による地域でのボランティア活動の状況を知る機会となりました。また、登録ボランティア団体『おはなしの会（蛭川）』が、社協支部や地域と協力して絵本の読み聞かせ活動が広がっていく事例を紹介しました。



▲昨年10月に厚生労働大臣表彰を受賞したフレンドリークラブの功績をたたえました。



▲ジェリービーンズによるギターマンドリンの演奏。
♪崖の上のポニョ♪など7曲を披露。

これらの事例発表をふまえ、分科会では「地域を支えるボランティア活動」について意見交換を行いました。坂下高校ギターマンドリン部のOBなどで結成された『ジェリービーンズ』による楽器演奏のアトラクションもあり、和やかな交流会となっていました。



▲おはなしの会（安藤みつ子さん）
地域での絵本の読み聞かせ活動の紹介。



▲山口支部長（浅野千賀子さん）による活動事例発表。



▲グループ分科会後の結果を報告。
話し合いにより、いろんな意見やアイデアが生まれました。



▲グループ分科会での意見交換。
坂下高等学校の生徒さんにも参加いただきました。

ボランティア交流会での意見

- ★★「日常の活動を活発化することが重要である」
- ★★「効率をよくするために社協支部とボランティア団体のネットワークを作つていただきたい」
- ★★「災害が発生したときにボランティアがどう活動するか、どう情報入手するかが重要である」
- ★★「気軽に依頼できる関係を築く必要がある」
- ★★「楽しく活動することが大事」
- ★★「地域ボランティアが活躍できる場を作る」とも大切である」
- ★★「後継者づくりが課題である」など

